

入場料無料 事前申込不要(先着順90名)
主催:東京藝術大学大学院映像研究科、横浜市文化観光局
会場:東京藝術大学 横浜校地馬車道校舎
アクセス:みなとみらい線「馬車道駅」5・7番出口を出てすぐ

シュペラ・チャーデジュ、
ニキ・リンドロス・フォン・バール、
ミシェル・クルノワイエ来日

コンテンポラリーアニメーション入門

現代短編アニメーションの見取り図 2019



Introduction to
Contemporary
Animation

本講座は日本アニメーション学会賞2019・特別賞を受賞致しました。



我々の同時代にどのようなアニメーション作家が、どのような意識で作品を制作しているのでしょうか。短編アニメーションは常にアニメーション映像の可能性の最先端を走っています。しかし、実際に製作者や観客の興味の増幅ほど、短編アニメーションを見て知る機会は増えてはいません。まずその基礎知識を共有して、コンテンポラリーアニメーションの見取り図を描くことがこの公開講座の目標です。東京藝術大学大学院映像研究科では、世界的に「いま」を象徴する作家の作品の鑑賞を中心に、講義を公開で行います。



2009年7月に始まった公開講座「コンテンポラリーアニメーション入門」は、今年、シュペラ・チャーデジュ監督、ニキ・リンドロス・フォン・バール監督、ミシェル・クルノワイエ監督をお招きし、特別講座を開催します。

第31回講座
9月1日(日)

Špela Čadež



演題: **グロテスクな陶酔**
講師: **シュペラ・チャーデジュ**

整理券配布:午後4時~ 開場:午後4時30分~ 上映と講演:午後5時~午後8時
作品上映(予定):「ラブシック」(2007)、「最後の1分」(2010)、「ボレス」(2013)、「ナイトホーク」(2016)、「解明:オレンジ・イズ・ニュー・ブラック」(2017)

講師紹介:シュペラ・チャーデジュ (スロベニア)

1977年生まれ。スロベニアでインディペンデント・アニメーション監督として活動。作品に、人形アニメーション「ボレス」(2013年、DOKライブツィヒ・グランプリ、カートゥーン・デウ:ノミネート)、マルチプレーンでの切り紙アニメーション「ナイトホーク」(2016年、オランダアニメーション映画祭グランプリ、ザグレブ国際アニメーション映画祭グランプリ)などがあり、世界中で100以上の賞を受賞し、サンダンス、クレルモン、アヌシーなどの映画祭で上映された。



第32回講座
9月29日(日)

Niki Lindroth von Bahr



演題: **孤独な動物たち**
講師: **ニキ・リンドロス・フォン・バール**

整理券配布:午後4時~ 開場:午後4時30分~ 上映と講演:午後5時~午後8時
作品上映(予定):「ツールとツール」(2010)、「屋内プール」(2014)、「私の重荷」(2017)ほか

講師紹介:ニキ・リンドロス・フォン・バール (スウェーデン)

スウェーデンのストックホルムを拠点に活動するアーティスト兼アニメーション監督。多くの受賞歴のある短編「屋内プール」(2014年)と「ツールとツール」(2010年)は、ベルリン、サンダンス、アヌシーなどの世界中の映画祭で上映されている。新しいアニメミュージカル、「私の重荷」は、2017年にカンヌ「監督週間」で初演。その後、アヌシークリスタル(短編グランプリ)、トロント国際映画祭最優秀短編賞など数々の賞を受賞。映画制作に加え、彫刻と衣装のデザインも手がける。2016年に、ニクラス・ニルソンと共に、デヴィッド・ボウイのミュージックビデオ「ブラックスター」のための衣装をデザインした。



第33回講座
10月20日(日)

Michèle Cournoyer



演題: **無意識とメタモルフォーゼ** 講師: **ミシェル・クルノワイエ**

整理券配布:午後4時~ 開場:午後4時30分~ 上映と講演:午後5時~午後8時
作品上映(予定):「スパゲッティ」(1976)、「トッカータ」(1976)、「羽の物語」(1992)、「アーティスト」(1994)、「帽子」(1999)、「アコーディオン」(2004)、「戦争のガウン」(2008)、「乾き」(2014)ほか

講師紹介:ミシェル・クルノワイエ (カナダ)

1943年カナダ、ケベック生まれ。ケベック、イギリス、イタリアでピアノ、美術、グラフィックアート、写真、アニメーション映画を学ぶ。芸術監督、脚本家、そして衣装デザイナーとして、ケベックの画期的な映画、ミレイユ・ダンスロー「夢見暮らし」(1972年)やジル・カール「ある木こりの死」(1973年)を手がけた。ダダイズムに触発された6つの実験映画を制作。1989年、第9回の「求められた映画人」コンクールに優勝し、NFBでの「羽の物語」(1992年)制作につながった。「帽子」(1999年)を始め、4本のNFB作品は、27の国際賞を受賞。メタモルフォーゼに基づく強力で繊細なスタイルは、この期間にわたって磨かれた。2009年にNFBを離れ、独立。最新作「乾き」(2014年)は、映画制作会社ユニテ・セントラルとNFBによる共同制作。これまでの功勞に対し2017年、カナダ総督賞とアルベール・テシエ賞を受賞。映画芸術科学アカデミー会員。



Koji Yamamura

企画/進行: **山村浩二**
東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻教授

1964年名古屋市生まれ。「頭山」がアヌシー、ザグレブ、広島をはじめ6つのグランプリを受賞、アカデミー賞にノミネートされる。また「カフカ 田舎医者」がオタワなど7つのグランプリを受賞。2011年には日本人初のNFBとの共同制作「マイブリッジの糸」を完成。川喜多賞、芸術選奨文部科学大臣賞、紫綬褒章受賞ほか。アニメーション作品の国際的な受賞は90を越える。映画芸術科学アカデミー会員、国際アニメーションフィルム協会理事、日本アニメーション協会副会長。

入場無料/事前申込不要(先着順90名)
満員の場合には立ち見スペースが無いので、会場の中に入れない場合があります。映像中継は行いませんのであらかじめご了承ください。
会場:東京藝術大学 横浜校地馬車道校舎 大視聴覚室
アクセス:みなとみらい線「馬車道駅」5・7番出口を出てすぐ
主催:東京藝術大学大学院映像研究科横浜市文化観光局
協力:カナダ国立映画制作庁
詳細はホームページをご覧ください。
<http://animation.geidai.ac.jp/ca/>
注)予告なく演題、上映作品、講師を変更する場合がございます。ご了承ください。

